

教材名：縁の下の力持ち	
主題名：伝統を支える	内容項目：C（17）伝統と文化の尊重， 国や郷土を愛する態度

- 1 **ねらい** 郷土の伝統文化を支えている人々の存在とその人達の誇りに気付き、郷土のよさを受け継いでいこうとする心情を育てる。

## 2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）
-----------------------

### ◇ ふるさとの祭りについて話し合う。

① 私たちの市や町には、どんな祭りがありますか。また、その祭りについてどのように思いますか。

- ・〇〇というお祭りが有名だ ぼく達の自慢の祭りだ
- ・〇〇という祭りは昔からずっと続いている 自分も今年は～をした

### ◇ 映像資料で興味・関心を高め、教材を読んで話し合う。

② 五人衆の仕事をがんばっているお父さんを、孝太はどんな気持ちで見ていたでしょう。

- ・がんばっているな でもそこまでしなくてはいけないのかな
- ・他の誰かにしてもらえばいいのに 一緒にキャッチボールをしたいのにな

③ たくさんの人に囲まれていて感謝されているお父さんを見て孝太はどんな気持ちになったでしょう。

- ・地域の方々に感謝されているお父さんが誇らしい
- ・お父さんは地域の大切な伝統を守るために頑張ってきたのがすごい
- ・お父さんの地域を大切にすることを理解してあげられなくてごめんね

④ 「自分も縁の下の力持ちになる」と言った時の孝太は、どんな気持ちだったでしょう。

- ・僕もお父さんみたいに地域の伝統を守れるような存在になりたい
- ・曳山はこの町の誇りだから残していきたい
- ・楽しみにしている人たちがこんなにいるのだから、ぼくも受け継ぎたいな

### ◇ 教師の説話を聞き、伝統を支えることや受け継ぐことについて、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

## 3 指導上の留意点及び工夫

- ・自分たちの身近な祭りや伝統行事を導入や終末で想起させるとよい。
- ・終末で、「私たちの道徳」P166～169「語りつぎ受けつぐ日本らしさ」を活用することも考えられる。

## 4 参考資料

- ・映像資料集（小学校高学年）「19 縁の下の力持ち」

教材名：縁の下の力持ち	
主題名：支え合って生きている	内容項目：B（8）感謝

- 1 ねらい 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとする心情を育てる。

## 2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）
-----------------------

◇ 映像資料を視聴して、曳山子供歌舞伎や五人衆の仕事を知る。

◇ 教材を読んで話し合う。

- ① 孝太が、「縁の下の力持ちになって祭りを成功させたい」と考えるようになったのはどうしてだと思いますか。

- ・自分もお父さんのように、みんなを笑顔にできるようにになりたいから
- ・たくさんの人に感謝されているお父さんが、かっこよかったから
- ・町のために自分もできることをしたいと思ったから
- ・五人衆の頑張りがないと曳山はできないから

- ② 「縁の下の力持ち」とは、どのような人のことを言うのでしょうか。

- ・誰かを輝かせるために、見えないところでも一生懸命に頑張る人のこと
- ・目立つ存在ではなく、陰で支えてあげられる人のこと

◇ GTの話聞き、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

- ・自分の町の行事のために、力を出してくれている人がいると初めて知って、ありがたいなと思った
- ・自分も参加して盛り上げていきたい気持ちになった
- ・自分達のためにこんな思いをして支えてくれている人達がいるとわかった 今度会った時にはお礼を言いたいな

◇ 「私たちの道徳」（P89）松下幸之助の言葉を紹介する。

## 3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、五人衆の仕事（演目決め、役者決め、寄付金集めや挨拶回り等）が、目立たない裏方の仕事であることを押さえる。
- ・②では、祭りに来る人は輝かしい舞台上に注目するが、見えないところで働く人々がいるからこそ、役者が輝けることに気付かせたい。
- ・GTには、地域や学校の中で縁の下の力持ちになって尽力されている方を活用する。
- ・自分たちは多くの人々に支えられていることに気付かせるだけでなく、自分たちもその思いにどのように応えていくことができるかについて考えさせる。

## 4 参考資料

- ・映像資料集（小学校高学年）「19 縁の下の力持ち」